

まくべつ学園だより

《目指す子ども像》

自ら進んで学ぶ子ども 思いやりのあるやさしい子ども 心身ともに健康でたくましい子ども

発行日令和6年11月15日

文責：まくべつ学園小中一貫

コーディネーター

島田 裕行（幕別中）

今年3回目の地域学校協働活動「あいさつ運動」を開催

9月18日（水）に地域学校協働活動として今年最後の「あいさつ運動」が開催されました。この取組は、まくべつ学園学校運営協議会で「学校・地域が一体となり、子どもの見守りと地域活性化につながる活動」として今年度から始まり、計3回行いました。参集範囲は近隣の5つの町内会（緑町・新町・宝町・南町・錦町）と両校の保護者とし、学校運営協議会員が呼びかけました。当日は、近隣から25名の方々が集まりました。今回も天候にも恵まれて、たくさんの方々に参加していただきました。次年度も学校と地域のつながりが深まるような活動を実施していきたいと考えております。



小中総合学習 その①「幕別町の特産品を使ったふるさと給食」

10月11日（金）に小学校3年生と中学校1年生と一緒に幕別町の特産品を使ったふるさと給食を考える総合学習が行われました。これは中学生が幕別町の特産品を使ったメニューを考案し調理をして、それを小学生が試食をするといった取組です。中学生にとっては、特産品を生かしたレシピを考案することで、幕別町の魅力について再発見したり、郷土を愛する心を育成したりすることができます。また、小学生にとっては、幕別町の特産品の理解を深める学習を行うとともに、どのようにその食材を生かすことができるのかを知る機会となります。当日はお互いに和気あいあいとした雰囲気の中で行われ、学習を深めることができました。1月には、考案したメニューが、実際に給食として提供される予定です。



小中総合学習 その②「仕事をする上で大切にしたいこと」



10月16日（水）に小学校5年生と中学校2年生が合同で総合学習を行い、幕別町で働く人の思いを知ることを目的とした講話を聞きました。当日は講師として、幕別町でお仕事をされている小笠原農園の小笠原美奈子氏をお招きして、「働くこととは」と題してお話をいただきました。中学生にとっては、働くことへの意義や仕事への思いについて学ぶよい機会となり、小学生にとっては、幕別町で働く人の思いを知る機会となりました。また、ワークショップでは、仕事をする上で大切にしたいことについて小中学生が意見交流することで、仕事に対する自らの考えを広げることができました。

